

環境負荷削減の目標・実績

当社は、環境に影響を与える活動、サービスを再点検した上で環境目的・目標を設定し、環境負荷低減の取り組みを行っています。

平成19年度目的・目標と実績

評価 …良い …普通 …悪い

取り組みテーマ	環境目的	平成19年度目標	平成19年度実績	評価
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	使用電力量 平成17年度比 2%削減	平成17年度比 1.75%削減	
	エコオフィスの推進	電力使用量 対前年度比 +5.7%に抑制 ガソリン使用量 対前年度比 ±0%維持	電力使用量 12.3%増 ガソリン使用量 23.9%増	
	公共交通利用促進	公共交通利用促進に関する取り組み検討および施策実施	パーク&ライドの実施 (p42) など	—
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	鋼桁の有道床化 (複々線19.5m) 踏切警報音の減音 (5踏切) 車両の防音車輪化 (44両)	鋼桁の有道床化 (複々線19.5m) 踏切警報音の減音 (6踏切) 車両の防音車輪化 (44両)	
環境にやさしい物品の購入	グリーン購入の推進	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 80%	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 85.2%	
資源消費の削減	エコオフィスの推進	紙使用量 対前年度比 0.1%削減 水使用量 対前年度比 0.8%削減	紙使用量 対前年度比 3.3%増 水使用量 対前年度比 0.7%増	
環境コミュニケーション	情報開示の推進	CSR報告書の発行	CSR報告書の発行 (平成19年6月)	
	美化活動の推進	京阪グループ社員による春秋2回の沿線清掃活動 地域清掃活動への参加	年2回実施 その他自主活動のべ27回実施	
	エコステーションの推進	樟葉駅において取り組みを推進する ※京阪グループの環境活動の取り組みを、駅でアピールすることを「エコステーション」と位置づけ、推進する	樟葉駅周辺清掃活動の実施 (2回)	
研究開発	環境配慮設計推進 列車の騒音振動低減技術検討 紙使用量削減方法検討		環境配慮検討、 チェックシート評価方法の共有 摩擦調整材調査等 使用状況調査	— — —

平成20年度目標

取り組みテーマ	環境目的	平成20年度目標
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	運転原単位 対前年比1%削減
	エコオフィスの推進	電力使用量 対前年度比 +3.0%に抑制
	公共交通利用促進	公共交通利用促進に関する取り組み検討および施策実施
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	鋼桁のPC桁化 (複々線8.7m) 踏切警報音の減音 (2踏切) パンタグラフ舟体のCFRP製化 (18両)
環境にやさしい物品の購入	グリーン購入の推進	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 86%
資源消費の削減	エコオフィスの推進	紙使用量 対前年度比 0.2%削減 水使用量 対前年度比 0.7%削減
環境コミュニケーション	情報開示の推進	CSR報告書2008の発行
	美化活動の推進	京阪社員による春秋2回の沿線清掃活動および 地域団体主催活動への積極的参加
	エコステーションの推進	樟葉駅を中心とした京阪グループの環境に対する 取り組みをアピールする
研究開発	環境配慮設計推進 列車の騒音振動低減技術検討 紙使用量削減方法検討	環境配慮設計チェックシート不採用項目の調査 列車騒音低減技術の検討、試行 ワーキンググループでの調査

京阪グループのCSR

安全への取り組み

株主・投資家のために

従業員のために

地域社会のために

環境への取り組み